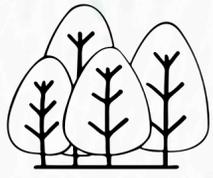


学校林の活用「森の教室project」

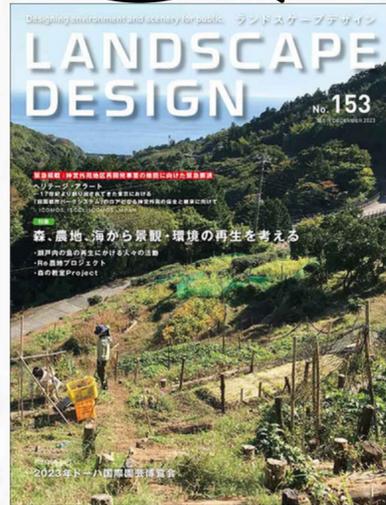
小島綾子 大泉佑樹 金城蒼平 金丸結衣 松永琴美 渡邊葉月（聖パウロ学園高等学校）



経緯、発足

「森で授業受けたくない?」という校長の言葉から始まったproject。身近にあるにも関わらず、パウロの森を活かすことが出来ていない現状があった。2023年2月にランドスケープアーキテクトの保清人氏を迎えてのワークショップを開催し、森の教室のビジョンや可能性、森をどのように活用していくのか、どこに森の教室を作るのか、森で他にやりたいことはないかなどを森を歩きながら考えた。開放的な気持ちの中、たくさんの意見が出た。今年度から本格的に活動が始まり、スタート当初の3人から、1年生の加入により、20人弱までメンバーも増えた。8月には森の教室の礎となるウッドデッキが完成し、文化祭での「森のカフェ」、日常の授業でも使われる場としての形ができあがってきている。2023年10月には「Landscape Design」という雑誌にも取り上げられた。さらなる森の教室の活用と、魅力的な場となるよう工夫していきたい。

掲載して
頂きました!



〈これまでの活動〉

- 2023年
- 2月 キックオフミーティング
- 3月イメージの共有場所決め 3月
- 4月 プロジェクトメンバー加入
- 5月 椅子のデザイン
- 6月 下草刈り
- 7月 ウッドデッキ工事 貼り作業
- 9月 テーブル防腐剤塗る
- 10月 教室の使用開始
パウロ祭でカフェ
- 11月 看板づくり
- 2024年
- 2月 椅子の製作

森の教室完成までの道のり



森の現状・地域団体との連携

本校は、23万㎡の敷地内に都内でも有数の広大な学校林を有する。敷地内に学校林を保有している学校は国内でも全体の9パーセントのみであり、パウロの森は、貴重であるといえる。森の間伐などを通して里山の保全を考えていくPNP(Paul Nature Program)など、年間に数回は森と関わる機会はあるが、学校の大きな魅力である森をごく一部しか使えていなかった。本projectは、地域の様々な団体や大人に協力していただき、活動を進めている。

LOSFEE株式会社ロスフィー

保清人氏、北見みゆき氏にランドスケープの観点から教室作りのアドバイスをいただいている。森の斜面を利用した教室における、周囲との調和や、森の雨水の流れなどを配慮した設計をしてくださった。

パウロの森くらぶ

私たちの学校林で活動している森林インストラクターによる団体。森の保全や一般の方を対象とした森でのアクティビティなどを主催。本校のPNPの指導も務める。森の教室を作る場所の間伐や下草刈りなどをご指導いただいた。

小津倶楽部

学校の近隣の小津地域で活動するNPO。地域の活性化を目指し、里山の恵みを楽しむ様々なイベントを企画し、多くの参加者を集めている。森の教室へは、間伐した木を製材する作業をお願いした。



＊地域の団体ではないが、一般社団法人「芳心会」より、教育施設の充実のための助成金100万円をいただいた。



森の教室とSDGs



4 「質の高い教育をみんなに」



森で授業ができる空間を生徒が協働して作る⇒満足度の高い教育活動であった。

森の教室⇒リラックスした開放的な雰囲気の中、自由な発想や新たな価値観の創出

9 「産業と技術革新の基盤を作ろう」 THE GLOBAL GOALS



ウッドデッキや椅子や机など、デザインするところから自分たちで取り組み、様々な技術を大人に教わった。

木を伐採し、製材し、実際に形にしていけることを通して、ものづくりの原点、喜びや大変さを知った。



11 「住み続けるまちづくりを」

里山でもあるパウロの森 里山の手入れの重要性や困難さを学ぶ
里山の保全や地域との連携の重要性している。

地域の人たちが集える場所



13 「気候変動に具体的な対策を」

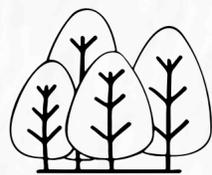


15 「陸の豊かさを守ろう」

森の教室づくりは、下草刈りや間伐など、パウロの森を適切に管理していく視点が不可欠。

パウロの森や、学校のある恩方産の間伐材の活用を通して、木を無駄なく意味ある形で使うことを実践した。

身近な森が生物多様性のある場所になっていくように手入れを続けたい。



「森の教室」により得られる効果 ～森の豊かさを享受する～

集中力

森で学ぶ効果

木から発生するフィトンチッドにより、体の血圧の低下や脳活動の鎮静化などの効果がある。さらに新陳代謝促進、自律神経調整、疲労回復などにつながると言われている。さらにリラックス効果も期待できる。

五感で刺激を受け取ることは豊かな発想にもつながり、学習の場として適していると考えます。

CO2吸収

森の機能回復

森の教室を作る際に、下草刈りや間伐をし、森に手を加えた。今後必要に応じて植林なども考えている。これらは、森が健康になり、同時に森の保水力の向上につながる。森のCO2の吸収力の向上や、森のダム機能を有することにもなり、森の機能を回復させることになるのではないかと考える。

仲間意識

森のダム機能

自然の力

リラックス効果

全身で受ける刺激



「森の教室」の今後の展望

2024年度は、ウッドデッキの拡張や、椅子づくりを計画している。必要に応じて間伐や遊歩道作りも進めていく。また、森の教室により得られる効果を科学的に検証していきたい。

